

春がきました

新横浜公園に、サクラソウ咲きました！

新横浜公園は、日産スタジアムのある運動公園でもあり、鶴見川遊水地でもあります。

鶴見川流域にはかつてサクラソウの自生地があったといわれています。そのため今も、「小机」や「中山」の名のついた、サクラソウが現存しています。

この小機種、中山種でサクラソウの水辺を復活させようと考え、横浜さくらそう会と日産スタジアムで「サクラソウの水辺をつくろうプロジェクト」をつくりました。2年前から小机小学校と中山中学校の協力を得てサクラソウの植え込みを行っています。

現在、今年1月に小机小学校の子供たちが植えてくれた苗とともに、小さな可憐な花が咲き始めました。

今咲いている花は小機種、中山種ではありませんが、公園内では多くの種類のサクラソウを見ることができます。

場 所：新横浜公園 北側園地水路周辺（裏面位置図参照）

内 容：「サクラソウの水辺をつくろうプロジェクト」が活動を始めて4年目、11月に横浜さくらそう会が北側園地に植えたサクラソウの花が咲き始めました。

横浜市立中山中学校、横浜市立小机小学校の協力を得て、株を増やしています。

※今は、数輪ですが、4月中は、小さく可憐な花を多数咲かせてくれます。

なお、小機種と中山種は例年4月頃から咲き始めます。



平成 23 年 4 月 14 日撮影



お問い合わせ先

日産スタジアム（新横浜公園指定管理者 代表団体 財団法人横浜市体育協会）

担当：清水

TEL 045-477-5000 FAX 045-477-5002

ホームページ <http://www.nissan-stadium.jp>

※写真データが必要な際は、お気軽にご連絡ください。

裏面あり→

お問い合わせ先

事業部長 田中 勇

TEL 045-477-5008 FAX 045-477-5002



撮影日：平成 23 年 1 月 18 日

～サクラソウについて～

サクラソウは日本特産の植物で、江戸時代初期に武家の手で栽培が始まり、その後庶民の間に広まったと言われる古典園芸植物の一つです。4月中旬にピンクや白の花を咲かせます。その美しさに魅了された愛好家の手で改良が加えられ、数百と言われる品種が生み出されています。

今でこそサクラソウは環境省のレッドデータブックの絶滅危惧種に指定され、自生地は保護の対象となっていますが、以前（何時頃かははっきりしませんが）はもっと身近な植物でした。神奈川県でも鶴見川流域や鎌倉、秦野などに自生地があったことが知られており、その地名の付いた品種が今も残っています。